

豊田市 PCB 処理 安全監視委員会だより

令和元年 11 月
第 43 号

豊田市は、中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）が行う豊田 PCB 廃棄物処理事業における安全性の確保及び周辺環境の保全のため、「豊田市 PCB 処理安全監視委員会」を設置し、PCB 廃棄物が安全・確実に運搬・処理されることを監視しています。

今回は、令和元年度第 1 回目の安全監視委員会の内容についてお知らせします。

令和元年度第 1 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会

令和元年 8 月 19 日、JESCO 豊田 PCB 処理事業所において、令和元年度第 1 回目の安全監視委員会を開催しました。会議には監視委員 13 名、オブザーバーとして愛知県、岐阜県、静岡県、三重県、岐阜市、静岡市、浜松市、名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市消防本部、豊田労働基準監督署、その他環境省、JESCO のほか、経済産業省中部近畿産業保安監督部の職員も出席していただきました。

○議 題

- 1 豊田 PCB 廃棄物処理事業の状況報告について
- 2 豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応について
- 3 PCB 廃棄物処理に係る東海地区広域協議会の取組について
- 4 PCB 廃棄物の適正処理推進に向けた環境省の取組について

1 豊田 PCB 廃棄物処理事業の状況報告

JESCO から、以下の報告がありました。

(1) PCB 廃棄物処理実績

	変圧器類 (台)	コンデンサ ー類 (台)	廃 PCB 油 (本)	保管容 器 (箱)
H31.4~ R1.6	49	2,140	70	176
H30 年度	108	6,945	323	432
累計 処理量	2,264	69,311	1,031	2,094

(2) PCB 廃棄物処理進捗率

	変圧器類	コンデンサ ー類	廃 PCB 油	保管 容器
R1.6 末 時点 (%)	92.8	92.0	※83.2	64.1

※登録本数当たりの処理率

(3) PCB 廃棄物未搬入状況（登録数－受入数）

	変圧器類 (台)	コンデンサ ー類 (台)	廃 PCB 油 (本)	保管容 器 (箱)
R1.6 末 時点	176	5,862	※259	1,191

※大型の金属タンク 7 基含む。

(3) 周辺環境への影響の状況

平成 30 年度及び平成 31 年 4 月に実施した排気、排水等の排出源モニタリングの結果及び大気、地下水等の周辺環境モニタリングの結果は、いずれも管理目標値、環境基準値等を下回っていました。

(4) 運転廃棄物の保管及び処理の状況

操業に伴い発生した運転廃棄物を封入したドラム缶を 6 月末時点で 1,308 本保管しています。仕分けを行い、順次処理を進めています。

(5) 収集運搬に関するトラブルについて

7 月、収集運搬事業者が収集運搬時に、PCB 油が漏れ防止型金属容器内のインナートレイへ漏洩した事例が 1 件発生しました。あらかじめ、PCB 廃棄物からのにじみ等のトラブルに備え、外部へ漏洩しないよう対策されているため、PCB の外部への漏洩はありません。

(6) 操業に伴う漏洩等のトラブルについて

前回の安全監視委員会以後、施設内で作業上の労働災害や漏洩のトラブルは発生していません。

2 豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応

豊田市は、前回の安全監視委員会以後、JESCO 豊田 PCB 処理事業所に計6回立入検査を実施し、行政検査や施設運転状況の確認等を実施しました。7月に実施した行政検査では、排出ガス中のPCB濃度を測定し、結果、排出管理目標値が遵守されていることを確認しました。

また、平成30年度PCB環境モニタリング冬季調査（大気、河川水質、河川底質）を実施し、いずれの結果からも施設稼働に伴う異常は認められませんでした。今後も継続して、PCB 処理施設の稼働に伴う環境への影響を把握してまいります。

3 東海地区広域協議会の取組について

PCB 廃棄物処理に係る東海地区広域協議会の事務局である愛知県から、広域協議会の取組について報告がありました。

最新の数値に見直しされた掘起見込量等を含めた東海地区 PCB 廃棄物処理計画について説明があり、昨年度は計画どおりの進捗であり、今後も JESCO の処理能力内であることが報告されました。

また、8月5日に開催された今年度1回目の東海地区広域協議会では、掘り起こし調査の取組等について話し合わせ、今後も情報共有しながら進捗管理を確実に実施していくことが報告されました。

4 適正処理推進に向けた環境省の取組について

環境省から、PCB 廃棄物の適正処理推進に向けた取組について報告がありました。

我が国全体の PCB 廃棄物処理事業の進捗状況は、平成31年3月時点で JESCO 登録台数に対して変圧器類 92%、コンデンサー類 91%、安定器・汚染物等は 60%です。

また、都道府県市への掘り起こし調査の支援や環境省で実施しているテレビCM等による PCB 適正処理を促進するための周知計画等について説明がありました。

【委員からの主な質問・意見】

質問（委員） 先に処理期限が到来した北九州事業エリアの変圧器、コンデンサーの掘り起こし調査結果に基づく事例やノウハウは、東海地区の広域協議会で共有されているのか。

回答（環境省） 北九州事業エリアの掘り起こし調査結果については、環境省で取りまとめを行い、その事例等については水平展開を実施し、知見やノウハウの情報共有を行っている。

質問（委員） 掘り起こし調査の未回答件数の現状が知りたい。資料にも分かるように記載してほしい。

回答（愛知県） 東海4県7市全体で、残り17,000件ほどである。

質問（委員） テレビで PCB の掘り起こしに関する内容の放送を見た。今後も同様の広報を継続的に実施していただきたい。今後の計画は。

回答（環境省） テレビCMに加え、地方紙での広報を検討している。

意見（委員） 処分期間の末日まで、本日で残り955日と説明を受けた。地元に関心事項は、再延長することなく確実に955日で終了させるということである。

意見（委員） 住民の安全・安心につながるための1番の問題は掘り起こしである。できるだけ前倒しで実施し、処理も進めていってほしい。



◆ 豊田市 PCB 処理安全監視委員会事務局
豊田市 環境部 廃棄物対策課
電話 0565-34-6710
ファックス 0565-34-6976
e-mail haitai@city.toyota.aichi.jp